

区分 大字別	世帯数	男	女	計	転出	転入	出生	死亡
赤馬場	535	1,073	1,240	2,313	9	4	3	0
中原	313	767	852	1,619	0	2	1	1
満願寺	546	1,226	1,322	2,548	9	4	2	6
計	1,394	3,066	3,414	6,480	18	10	6	7

# 広報みなみあくに

昭和40年11月13日第3種郵便物認可

第72号

昭和44年11月1日

毎月1日発行 1部 5円

発行所 阿蘇郡南小国町役場

TEL ② 1111

印刷 白石印刷美術株式会社

TEL ② 6812・4862

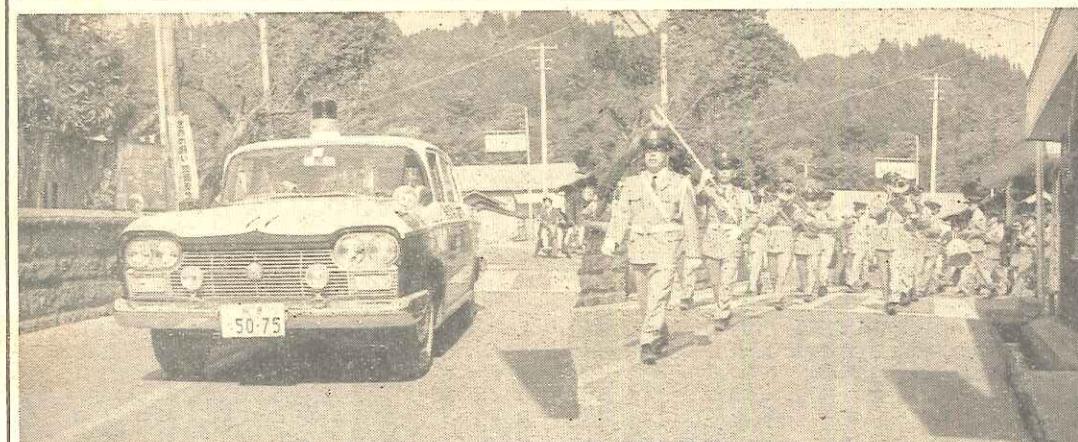
村民の皆様、皆様の努力  
と御協力によって本村も次  
第に近代的農村へと脱皮発  
展すると共に九州横断道路  
も開通を始め有線放送・電  
話の即時ダイヤル化と云つ  
た交通通信網の改進促進に  
伴い人も物も村外との、交  
流は日を追つて盛んとなり  
は即ち本村勢も現在並に將

# 南小国町

## 町制施行に当つて 御挨拶



杉田住宅地クリ入式



10月16日両神社祭り 町内パレードする自衛隊音楽隊

市原を中心として町と云つた感が濃くなつて参りました。これは從来の主産業であつた米畜産林業の外時代の流れであるレジャー観光の対象としても好適の条件を備えていることが広く世間に認められたからでもあります。従つて本村は基幹産業の近代的振興を期することは勿論観光、商工の新しい分野も大いに開発活用して社会も要望に応えると共に村民所得の増大、村財源培養に努めなければならぬと思います。本村は現在こそ財政面において聊か不如意の感がありますけれどもその開発如何によつては大きく夢と希望に満ちた将来を持つてゐると思います。本年は時恰も明治百一年の出発であり村民の皆様の間からこの際町政施行に踏み切つて等しく心を新たに一段の協力態勢を整え新时代の南小国町建設に邁進することが望ましいとする与論が持上がり村議会を始め村内各階代表の意見を拝聴した結果村民の総意となつて去る四月から町政施行への手続きを進めて参りましたところにおいても極めて当然の要請であるとして採択せられ、県・本省とも審議は順調に進行して七月二十日附を以て十一月一日から南小国町と改められることに決定致しました。これも開通を始めたばかりの即時ダイヤル化と云つた交通通信網の改進促進に伴い人も物も村外との、交流は日を追つて盛んとなりました。また本村も物も村外との、交流は日を追つて盛んとなりました。これらは即ち本村勢も現在並に将

に勘えないところであります。さて愈々十一月一日より南小国町として出発するに当たり当面の村情勢並に県将来の展望についてその概略を述べて町民の皆様の参考に供し一段の御協力を得て躍進に努めたいと存じております。私は就任以来財政立直しのため毀譽褒貶を度外視して派手な政策を慎み自ら緊縮を旨とし直営林の乱伐を避けて成林の見込み少ない一部土地も処分を行うなど財政好転に努めて参つたのであります。議会を始め皆様の御協力によって次第に効果も顕著な結果となりました。私は就任以来四十年度の赤字から四年度辛うじて赤字決算を免がれ、一時借入れ等を總て償還し四十三年度決算において相当の黒字を見るに至つております。然しながらこれから述べますよう県案の大事業を解決せんとするには尚自主財源は大

きく不足するものと考えられます。さて財源の獲得が重要な課題であります。これ迄推し進めて參りました事業の経過並に将来の展望につき触れて見ますとさきに指定をされたわけでありまして、条件に適応することが立証されたわけでありまして、村民の皆様と共に真に慶び来が町ととして発展する諸条件に適応することが立証されたわけでありまして、

この大事業が次々と迫つてござります。そこで等の事業遂行には率補助助成の期間を逸せないようその消化には全力を傾注して参つたのであります。その内計画、実施手続き、用地問題、権利調整など真に復雑困難な過程を経て苦心惨憺に成しましたがその実態は次に於て詳しく述べます。畜産にしても価格の見込み少ない一部土地も処分を行つて手な政

策を怠らなければなりません。私は就任以来財政立直しのため毀譽褒貶を度外視して派手な政策を慎み自ら緊縮を旨とし直営林の乱伐を避けて成林の見込み少ない一部土地も処分を行つて手な政

策を怠らなければなりません。私は就任以来財政立直しのため毀譽褒貶を度外視して派手な政





